

第11回海難救助訓練概要

令和6年11月9日（土）に葛が浜沖にて実施する海難救助訓練の概要になります。

1. 目的

海難事故は、バイスタンダー(初期対応者)の適切な対応が極めて救命効果の高いものとなります。

そのため、海に精通する様々な方々に適切な対応を身につけていただき、その知識や技術を、それぞれのフィールドで発揮していただくことで、一人でも多くの方々に広めていただくことが非常に重要となります。

葛が浜沖のサーフポイントである『浪子』周辺において、サーフボード等を活用した基本的な救助方法、搬送方法、応急救護をお伝えします。

今回も逗子消防署の協力をいただける予定で、応急救護や消防との連携等、専門的な知見について、質問を交えながら実技を行います。

なお、海況等にもよりますが、逗子消防署の逗子バイクが参加予定で、水上バイクによる救助法の基礎的な訓練も実施予定です。

海に入らない方お子様や訓練を見学のみの方の参加も大歓迎です。

是非、気軽にご参加ください。

2. 日時等

(1) 令和6年11月9日(土)

(2) 実施時間 : 8時00分から10時00分まで

(3) 訓練場所 : 葛が浜(サーファーズ下の海岸)

(4) 集合場所 : 逗子市海岸県営駐車場 ロードオアシス内トイレ前

※訓練終了後、流れ解散としますので、手荷物は各自で管理してください。

(5) 持ち物 : **普段海に入る時に使用する服装、サーフボード(サップ)、リーフブーツ**

※ 集合場所に持ち込みが困難な大きなボード等は、サーファーズ下の海岸に置き、集合してください。

※ 潮位の高い時間帯に実施しますが、訓練場所は岩場で、ウニや貝などで足をケガする危険がありますので、リーフブーツを履くなど、各自でご対応をお願いします。

3. スケジュール

時間	概要	備考
8:00	集合	ロードオアシストイレ前集合。 集合後、サーファーズへ移動。
8:00-8:20 (20分間)	ブリーフィング (自己紹介、スケジュール説明等)	サーファーズ内で実施。 地形等で注意すべき点等の説明。
8:20-8:40 (20分間)	準備運動、浪子の環境説明、陸上での救助訓練。 (サーフボードを使用した救助法等)	サーファーズから、サーファーズ下の海岸へ移動。 体操。 上記後、3人1組で、陸上で実技の説明。
8:40-9:30(50分間)	海上での救助訓練	沖合へ移動後、3人1組で、サーフボード等を使って溺者を岸まで搬送。 ※海況等によりますが、逗子消防署の水上バイクが参加予定です。要救助者を水上バイクへ乗り込ませる訓練等を実施予定。
9:30-10:00(30分間)	陸上での搬送訓練、応急救護訓練(模擬AEDを活用した心肺蘇生法)、全体を通じた質問、解散	逗子消防主体で実施。 今後の予定の説明等。

※水上バイク到着等のタイミングで、訓練内容の時間に変更が生じる場合があります。

4. 訓練における特記事項

- (1) 訓練中、急な天候不良、体調不良者等が発生した場合は、直ちに中止します。
なお事前に中止する場合は、主催者より別途連絡します。
- (2) 訓練時に発生した事故等については、各自の責任とし、735スタイルは責任を負いかねますことをご了承ください。
- (3) 本訓練における不明点等は、735スタイル比野まで問い合わせてください。

訓練実施責任者
735スタイル 比野裕介
(090-9561-8309)